

親子でつくろう！

ブナのストラップ

山形県立図書館



作成日 2024年8月2日
やまがた森林と緑の推進機構 緑化推進課

ひとこと

ブナのストラップづくりについては私も経験があったため、作成の苦労はよく分かりますが、子どもたちはめげず、一生懸命に取り組んでいました。子どもたちはこだわりながら作業に取り組み、紐を通す穴も棒やすりで綺麗にしたいという子や、しずくの形をハリネズミと見立てて加工したいという子がいて、ほほえましいと思いながら見守らせてもらいました。(担当Y)

7月27日(土)、山形県立図書館で、やまがた木育プログラム体験会「親子でつくろう！ブナのストラップ」を行いました。講師として、松田泰之さん、富樫正義さんにお越しいただきました。体験会ではまず、やまがた木育の講話を行いました。山形はブナ林の面積が日本一であること、諸説あるブナの名前の由来などを松田さんに語ってもらいました。そして木材や原木の標本を実際に見て触り、対比してもらったり、採取したばかりのブナの枝葉を見てもらい、ブナや山形の森林について、親子で関心を深めてもらいました。

続いて、ブナのストラップ作りは富樫さんが作り方を説明後、スタッフ全員で皆さまの作業を見守りました。はじめに、目の粗い紙やすりを使って、5cm程度のしずくの型を削ります。ふちの部分綺麗に削って、全部の形状に丸みを付けて取り組んでも15分ほどかかりました。満足いく形まで削り終わったら、後は表面が滑らかなようになるよう、2種類のより目の細かい紙やすりで仕上げます。紐を通して完成させ、紐を通して完成させる。加者全員が見事に完成し、おのようでした。

【参加した方の感想】
・子どもがお土産付きなので参加したいと言っていました、プロの方からのお話や作業中のお話など貴重な機会だと思います。
・久しぶりに木に触れる事が出来ました。
・身近にある木の勉強にもなったし、すてきなストラップも作れたのでよかったです。

【スタッフの振り返り】
・ブナのしずくストラップ作りは根気のいる作業だが、大変好評だった。ブナという山形県の魅力を県民に知ってもらう有意義な活動になったと思う。
・ブナについての話を楽しんで聞いてくれたようでよかったです。



親子で合計9名の方に参加いただきました！

